



いきがいを共に歩む 地域を目指して

いきがい在宅クリニック 院長
長野宏昭

奈良県出身 2006年 岡山大学卒業
沖縄県立中部病院 呼吸器内科・地域ケア科 医長
2023年 沖縄県沖縄市に いきがい在宅クリニックを開業
2024年 シェアハウス型在宅ホスピス「いきがいの家」



総合内科専門医・呼吸器内科専門医/指導医



趣味：ヴァイオリン・ヴィオラ演奏 訪問演奏
いのちの授業

背景・想い

いきがいグループ

株式会社いきがいクリエーション（6つの事業所、150名の職員）＋クリニック

リーダーたちはエンドオブライフ・ケア（ELC）協会が提唱するユニバーサルホスピスマインド（ユニホス）を学んでいる

日々の現場で実践 + 地域作り、人材育成にも貢献したい・・・
社会実装

親泊朝光看護師のアイデア

がんの当事者が苦しみを打ち明け、自分を取り戻せる場所
家族、遺族が集える場所を作りたい・・・
近くにお家のように過ごせる環境の住宅・・・

シェアハウス型在宅ホスピス「いきがいの家」の構想



いきがいグループ IKIGAI group いきがいクリエーション/ 6つの事業所 + クリニック

沖縄市 美原

サービス付き高齢者住宅
通所・デイサービス
キッチン

NPO法人
いきがいLABO

沖縄市 安慶田

地域包括
中部南

沖縄市 諸見

小規模多機能
諸見里

うるま市

小規模多機能
うるま

沖縄市 大里

障がい児通所支援所

沖縄市 美里6丁目

訪問看護ステーション
ヘルパーステーション
シェアハウス型在宅ホスピス
「いきがいの家」
居場所「よりどころ」

いきがい在宅
クリニック

2027年 看護小規模多機能@うるま市



クリニック実働

(2025年4月～2026年3月)

訪問診療	3080	件
往診	331	件
緊急往診	154	件
夜間・深夜・休日往診	95	件
看取り件数	99	件 (沖縄市の在宅看取りの約1/3)
自宅看取り	66	件
施設看取り (いきがいの家を含む)	29	件
医療機関看取り (具志川厚生園)	4	件

0歳から102歳まで

いきがい 在宅クリニック

在宅医療（訪問診療・往診）を中心に、患者様の急変に対し24時間体制で対応します
小児在宅医療にも対応します



院長 長野 宏昭

副院長 瑞慶寛 元

副院長 呉屋 英樹

診療内容

訪問診療

往診

訪問範囲

沖縄市、うるま市、北谷町、嘉手納町、読谷村、北中城村、恩納村（一部）、金武町（一部）

理念

地域：病や苦しみを抱えながらも、最期まで穏やかに、笑顔で自分らしく生きられる地域を創る。

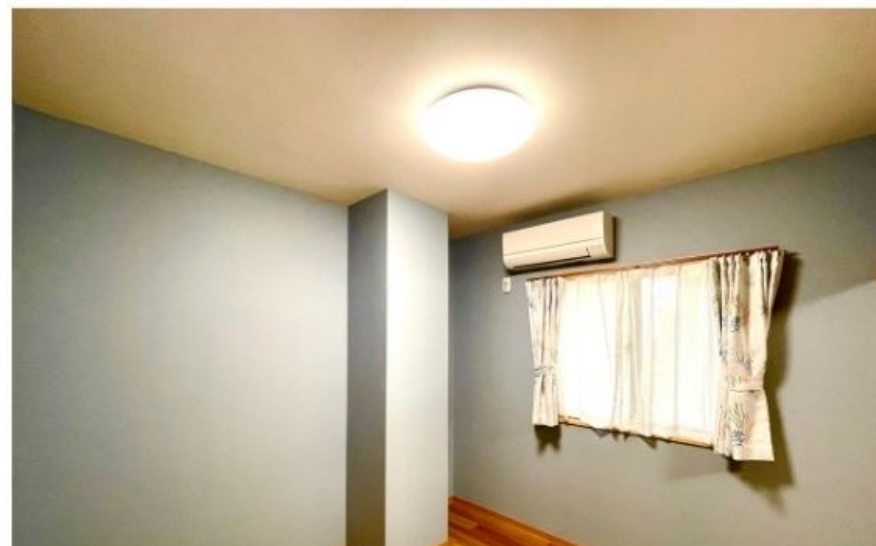
組織：社会課題を解決しながら、みんなで幸せになる組織。

チーム：関わる全ての人の幸せ、いきがいを全力で応援する。

クリニックの近くにシェハウス型在宅ホスピス「いきがいの家」 2024年7月8日にオープン



病院でもない、施設でもない。全8部屋。
居心地の良い空間を創りました。
医療ケアが必要な小児から高齢者まで、年齢に関係なく



シェアハウス型在宅ホスピス 「いきがいの家」

「ただいま」「おかえり」が聞こえる
もう一つの我が家のような場所
お家の温かさ＋医療が側にある安心感

- 全8部屋、個室
- 何時に起きて、何時にご飯を食べてOK
- 外出、外泊自由
- 家族の面会、宿泊も自由

- 医療が毎日必要な方が入居
- 24時間、看護師が常駐し迅速に苦痛の緩和を行う





最初の入居者

80歳女性 胆管がん終末期 独居 元モデル



「人生はゴーヤのように、苦いけど味わい深い」
「今が一番幸せ。今を精一杯生きているから」





入居者同士での交流
擬似家族のような関係



73歳男性 腎細胞がん 寡黙な元ドラマー
ホスピス入居中に地域の夏祭りに参加

シェアハウス型ホスピス「いきがいの家」

- これまでの入居者 1年間で53名
- **悪性腫瘍終末期が85%以上** オピオイド使用者 27名(60%)
- 他疾患：老衰、末期腎不全（HD中止）、ALSなどの難病
- 在宅酸素 8名, オピオイド持続点滴 17名(37.8%)

- 41名お看取り（いきがいの家 38名、自宅2名、病院1名）
- 平均入居日数 41.3日
- 外来、病院受診患者 6名（入居中に抗がん剤の治療を受けた患者4名）
- 紹介元 病院 30名(66.7%), ケアマネ 10名(22.2%), 家族 5名(11.1%)



ホスピスの階下「よりどころ」で さまざまなイベントを企画

グリーンサークル「虹の会」



「アンサンブルいきがい」によるコンサート



苦しみを分かち合い、お互いをケアし合える場

後悔の少ない看取りを実現するために

- 病院と地域をシームレスに**行き来できる医師**の存在
（急性期在宅チーム・病院で外来診療を継続する在宅医）
- 診療を周りで支えてくれるチームの存在（訪問看護、薬剤、介護、居宅 etc..）
- 家族・大切な人と過ごす時間、場所があること
- 関わる人たちに共通のマインドセットがある
- 目標：看取りの場所よりも「**幸せな人生だった・・・**」と思えるように

スムーズな連携に必要なマインドセット

- ・ 苦しんでいる人は**自分の苦しみをわかってくれる人がいるとうれしい**

相手からみて「わかってくれる人」とは？ アドバイスではなく「聴いてくれる人」
わかってくれる人になれる聴き方とは？ → → 「ユニバーサル・ホスピスマインド」で検索

- ・ **苦しみとは希望と現実の開き 苦しみの中で気づく「支え」**

課題の解決も大事だが、生老病死は避けて通れない

「解決が難しい苦しみ」があってもなお、人は穏やか（笑顔）になれるのか？

- ・ 自らの支えを知り「助けて」が言える共同体 **心理的安全性**

ELC沖縄 第49回地域学習会

～在宅医だから見えてきた
現場のリアル～

ともに認知症と生きる力を育てる
「ともにん」プログラム



2026年4月24日 (金)

参加費
無料

日時

18:00～20:00

場所

- ・いきがいのまちデイサービス美里 (沖縄市美原2丁目8-7)
- ・オンライン (Zoom) 参加可

～お悩みではないですか？～

- ・わかってくれる人になるための聴き方
- ・苦しみから気づく「支え」
- ・自分を認め、大切にす



講師

長野宏昭

いきがい在宅クリニック院長



お申し込み



クラウドファンディング
実施中です！



ky records
Sana

詳細は、上記をカメラ
アプリからスキャンして
ご確認ください。

沖縄県の在宅ホスピス「いきがいの家」
において、患者様・ご家族・ご遺族・医療
スタッフの皆様に向けて、生演奏による音
楽を届けるグリーンフェア活動です。さ
う、ファイオロニスト・崎谷直人と、医師・
長野宏昭（いきがい在宅クリニック 院
長）の監修のもと、音楽と医療、それぞ
れの現場を理解する専門家が連携して進めて
まいります。

命の限られた現場こそ、
生の音楽を
必要としています！

—— 長野医師のメッセージより